

であり、さらに、誰でも住みなれた地域で生活できるように、医療と介護、福祉の連携の強化を図りながら、地域包括ケアシステムの確立を推進していきたい。

健康マイレージの取組みについて

議員 市民の健診受診率を上げ、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながるほか、地域コミュニティの活性化等が期待できる施策であり、積極的に取り組んではどうか。

市長 本市では、住民の健康づくりの中で誰もが地域で気軽に取り組める活動としてウォーキングに力を入れており、こうした笠岡市版健康マイレージ等で健康づくりを促進していきたい。

読書環境の推進と図書施設の整備充実について

議員 思索の場であり、ま

た憩いの場の環境づくりにどう取り組んでいるのか。

市長 適時に対応した企画や司書によるお勧め本コーナーの図書の展示、参加体験型行事等を行っている。

危険な空き家対策について

議員 災害が起きれば、危険な空き家が倒壊して通行人の被害は避けられない。このような場合に備え、市はどう対策をとるのか。

市長 老朽危険家屋対策チームにおいて危険防止に必要な応急措置の対応ができる空き家の適正管理条例の制定を検討している。

暖流

雄明 重俊 藤山 齋
質問者 議員 所属所

企業誘致、働く場所の確保について

議員 市民意識調査で市民が重要な問題であると回答したにもかかわらず、最も満足度が低い課題は企業誘致、雇用の創出の分野である。つまり企業誘致をしてほしい、働く場の確保をしてほしいという課題が一番であり、市はそれに対応していないという市民の意識である。この市民の要望にどう対応するのか。

市長 市民意識調査の中でも最も要望の強い項目として受けとめ、雇用の場を確保するために産業振興ビジョンの中で企業誘致についての具体的な施策を現在検討している。

議員 今後複数の企業誘致を専門とする職員体制が必要と考えるが、いかがか。

市長 重要施策の一つと認識し、必要と考え、今後産業振興ビジョンの中で検討していきたい。

笠岡市が各種団体に 出している補助金について

議員 本市が各種団体へ出している補助金は、人件費と扶助費に並ぶ支出三大項目の一つであり、事業評価でも財政健全化方針の点でも極めて厳しいチェックと事業効果を期待して査定しているものと思うが、どのような手順で査定しているのかたずねる。

市長 予算編成にあたり被交付団体の事務事業の実態を把握し、必要性、公共性、効果等を十分検討するよう指示している。こうした方針のもとで、事前評価対象となる新規事業については財政担当へ予算を要求する前に事業の必要性等を政策部ほか、庁内公募職員で検討し、予算要求の可否の事前の評価を行っている。その内容も踏まえて財政担当と事務担当との間でヒアリング等により確認を行い、取りまとめている。

国保の保険証、限度額適用認定証について

議員 ガンと診断された方（この方は税金の一部を滞納していた）が、入院に対して医療費の高額が予想されるので、自己負担の限度額を定めた医療費の限度額適用認定証の申請をした。このような方々の国保の保険証、そして限度額適用認定証の交付申請にどう対応するのか。

市長 国民健康保険法に基づき国保税を特別な事情もなく6カ月滞納した場合は国民健康保険短期被保険者証を、また1年滞納した場合は、国民健康保険被保険者資格証明書を交付しており、限度額適用認定証については、厚生労働省からの通知に従い、国保税の滞納がない場合に交付しているが、納付相談等も行いながら個々の実情を把握した上で、の対応に取り組んでいきたい。